

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	齊藤、星野				
科目名	美容理論（まつ毛エクステンション）	学 年	2	実施時期	前期		
授業形態	演習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	8		
教育目標・ねらい	まつ毛エクステンション技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の習得を目指す						
授業回	学習内容			備 考			
1	まつ毛エクステンション概論、 【到達目標】まつ毛エクステンションについて正しい知識、安全な道具の使い方を理解する						
2	グルー 【到達目標】接着剤（グルー）を安全に使用するための正しい知識を理解する						
3	眼の構造、涙のしきみ 【到達目標】目の構造、涙ができる仕組みを理解する						
4	カウンセリング、アフターカウンセリング 【到達目標】カウンセリングの仕方、アフターカウンセリングの必要性を理解する						
到達目標	まつ毛エクステンションの基礎知識（概論、道具の使い方、カウンセリング、アフターケア）理解できている						
評価方法	筆記試験及び提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない						
テキスト	「美容技術理論1・2」「まつ毛エクステンションテキスト」						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う						

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	齊藤、星野				
科目名	美容理論（着付け）	学 年	2	実施時期	前期		
授業形態	演習	必修・選択の別	必修	授業時間（単位）	7		
教育目標・ねらい	着付け技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の習得を目指す						
授業回	学習内容			備 考			
1	着付け概論 【到達目標】着付けについて正しい知識を理解する						
2	礼装 【到達目標】礼装について正しい知識を理解する						
3	用具・帯・小物 【到達目標】用具・帯・小物について理解する						
4	着付け時の注意点 【到達目標】安全に技術を施すための正しい知識を理解する						
到達目標	安全に着付け技術を提供するための基礎知識（礼装、用具の使い方など）が理解できている						
評価方法	筆記試験及び提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない						
テキスト	「美容技術理論1・2」						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるマイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う						

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	池田		
科目名	美容美術（造形学）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	座学・実習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	30
教育目標・ねらい	1,2年次のデッサンの授業を活かし、実践的なメイクワークやネイルアートデザインを創造するなかで、卒業後のキャリアプランを描くことができる。テーマに沿ったメイク、自らの最も好きなテーマのネイルアートに挑戦するといった経験が卒業後、職場の即戦力となることにつながる。				
授業回	学習内容			備 考	準備
1	<p>選択デザイン-数などを用いたデザインの考案Ⅱ</p> <p>【到達目標】</p> <p>①色彩計画：モノトーンと有彩色、360度色相、2色相のグラデーションなど配色計画を立てる。</p> <p>②マスキング、定規、コンパスなどの道具を用いて美しく作図、着色を3割までは進める。</p>			絵の具一式、定規、水入れ、配色カード	
2	<p>選択デザイン-数などを用いたデザインの考案Ⅲ</p> <p>【到達目標】</p> <p>作品を丁寧に仕上げる。無から作品を作り出す喜びを味わう。シンメトリーはヘアーやファッショショ等舞台の構成でもよく使われる。リピートでは同じ形を繰り返し使う効果を学習、関数を用いたデザインでは数倍または2乗した数の並びの美しさを学ぶ。その中でデザイン力が向上し他の学習面への興味も高まる。</p>			絵の具一式、定規、水入れ、配色カード	
3	<p>メイクアップフォトコンペティションⅠ</p> <p>【到達目標】</p> <p>Regina Photo Competitionに向けて、テーマに沿ったコンセプト、キーワード、配色、図案などを計画し練習して描く。マスクの周りに配置するものは造花やリボンなど、数ヶ月前から収集しておくが、配色計画に特に配慮し個性の光る作品作りに向け、粘り強く取り組むことができる。</p>			マスク、メイク道具、色鉛筆、ペンなど	
4	<p>メイクアップフォトコンペティションⅡ</p> <p>【到達目標】</p> <p>マスクにメイクを始める。頬などに絵を描く場合は細い筆を用い、色彩や細かな描写に気をつけ描く。和はdeep、洋はbrightなど色彩の微妙な違いにも配慮できる。</p>			メイク道具、色鉛筆、ペンなど	
5	<p>メイクアップフォトコンペティションⅢ</p> <p>【到達目標】</p> <p>メイクの周りの配置を始める。配色やバランスに配慮し、取捨選択しながら作品を完成させる。チープな作品にならぬよう粘り強く丁寧に完成にさせる。</p>			メイク道具、色鉛筆、ペンなど	

授業回	学習内容	備考
		準備
6	円の配置、色彩効果Ⅰ <b>【到達目標】</b> 規定の円から何かを表現する。各自テーマを決めて円の配置によって動きを、色彩効果によって感情や情景を自由に表現する。配色カードで使う色を計画する。1年次の色彩の基礎を応用し、目的に合わせ色使いをより洗練させる。人物や文字風景など円以外の任意のモチーフを描いても良い。4,5割着色を進める。	A4ケント紙、絵の具一式、定規、水入れ、配色カード
7	円の配置、色彩効果Ⅱ <b>【到達目標】</b> 着色を進める中で、色の変化が適切か、退屈な部分にはワンポイントを足すなど完成に向け工夫をし丁寧に仕上げる。作品を見る相手にそれが伝わっているか考え、より美しく良いデザインに改善、刷新する。	絵の具一式、定規、水入れ、配色カード
8	ネイルアートデザインⅠ-朱雀、鳳凰 <b>【到達目標】</b> ネイルカラーを任意のグラデーションで塗り朱雀、または鳳凰の柄（配布）をアクリルで描く。	ネイルカラー、アクリル絵具など
9	ネイルアートデザインⅡ-自由課題 <b>【到達目標】</b> 最も興味のある好きなテーマを一つ選ぶ。5~10つの爪を並べて絵画になるテーマの場合、爪と爪の間の溝に顔などを配置しないよう計画する。着色を始め5,6割まで進める。	ネイルカラー、アクリル絵具など
10	ネイルアートデザインⅢ-自由課題 <b>【到達目標】</b> 目指す色彩を作ることができる。混色、配色に配慮する。一筆入魂で筆の穂先を揃えて美しい線画を地道な努力を続け、描くことができる。	ネイルカラー、アクリル絵具など
到達目標	色彩の理論を生かし、自らの選んだテーマに沿って作品を形づくり、発表することができる。地道な努力で粘り強く取り組み、期待するような色彩、描画を描けるようになる。	
評価方法	作品のデザイン性と完成度、仕上がりで、各課題を100点満点で採点します。課題にかかる時間数や重要度により、円の配置、マイクアップコンペティション、ネイルアート（鳳凰）、ネイルアートデザイン（自由）、副課題の加点、提出遅れや居眠り、制作遅れ等の減点、をそれぞれ2:3:0.7:3:1:1（予定）で集計し、100点満点の成績点といたします。合格点は60点です。	
テキスト	プリント	

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	齊藤、星野		
科目名	美容実習（メイク）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間（単位）	60
教育目標・ねらい	メイクを学びながら、メイクアップアーティストに必要な心構えや技術習得を目指す				
授業回	学習内容			備 考	
16	アイライン①（基本・リキッド&ペンシル） (アイシャドウ&アイライン&アイブロウ・形指定) 【到達目標】半顔ずつリキッドとペンシル、道具を使い分けて基本のバランスでアイラインを引く事が出来る			半顔づつ	
17	アイライン（全種類） (アイシャドウ塗らずアイラインのみ・リキッド&ペンシル) 【到達目標】半顔ずつリキッドとペンシル、道具を使い分けて垂れ目、中央強調、囲み、切れ長、キャット型のアイラインを引く事が出来る			半顔づつ	
18	アイメイク（アイシャドウ・アイライン・ビューラー・マスカラ） (形指定・左右対称意識) 【到達目標】左右対称にアイメイクする事が出来る				
19	チーク①（基本） (アイメイク&アイブロウ&基本チーク) 【到達目標】水平、ラウンド、シャープにチークを入れる事が出来る				
20	チーク②（3パターン） (アイメイクorアイブロウ・形指定&3パターンチーク) 【到達目標】指定された形にチークを入れる事が出来る				
21	リップ①（基本） (アイメイクorアイブロウorチーク&リップ基本) 【到達目標】基本のリップの形を描く事が出来る				
22	リップ②（3パターン） (インカーブ・ストレート・アウトカーブ) 【到達目標】インカーブ、ストレート、カーブのリップを描く事が出来る				
23	ハイライト&ローライト① (スキンケア～ファンデーション&ハイライト・ローライト) 【到達目標】ハイライトとローライトの目的を理解し塗布する事が出来る				
24	ハイライト&ローライト② (ファンデーション～顔型別修正) 【到達目標】顔型に合わせ、必要な場所にハイライトとローライトを入れる事が出来る				
25	メイク接客① 【到達目標】肌、各パーツの色、形を指定通りのメイクが出来る				

授業回	学習内容	備 考
26	メイク接客②（カウンセリング・ローブレ） 【到達目標】お客様の要望を引き出すカウンセリングができる	
27	イメージメイクとは (色・形・質感) 【到達目標】メイクにおける色、形、質感の違いが理解できる	
28	フレッシュ 【到達目標】フレッシュなイメージのメイクを仕上げることができる	
29	キュート 【到達目標】キュートなイメージのメイクを仕上げることができる	
30	エレガント 【到達目標】エレガントなイメージのメイクを仕上げることができる	
31	クール 【到達目標】クールなイメージのメイクを仕上げることができる	
32	フレッシュ応用 (様々なバリケーション) 【到達目標】フレッシュなイメージのメイクを仕上げることができる	
33	キュート応用 (様々なバリケーション) 【到達目標】キュートなイメージのメイクを仕上げることができる	
34	エレガント応用 (様々なバリケーション) 【到達目標】エレガントなイメージのメイクを仕上げることができる	
35	クール応用 (様々なバリケーション) 【到達目標】クールなイメージのメイクを仕上げることができる	
36	メイク接客～一連の流れ 【到達目標】お客様ご来店からお見送りまでの流れを理解できるようになる	
37	認定試験の説明・演習 【到達目標】認定試験内容を理解する	
38	認定試験対策 【到達目標】認定試験課題のメイクを合格レベルに仕上げることができる	
39	認定模擬試験 【到達目標】認定試験同様に一連の流れを理解し、合格レベルの技術提供ができる	
40	認定試験 【到達目標】お客様の要望通りのメイクアップを提供することができる	
到達目標	お客様の要望に合わせたメイク技術を提供できるようになる ユニオン認定試験合格	
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない	
テキスト	プロフェッショナルメイクアップアーティスト公式テキスト	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う	

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	齊藤、星野		
科目名	美容実習（セット）	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	60
教育目標・ ねらい	ヘアセットを学びながら、ヘアメイクアップアーティストに必要な心構えや技術習得を 目指す				
授業回	学習内容				備 考
1	イメージ分類 【到達目標】アイロンワークでイメージ分類することができる				
2	イメージ分類 【到達目標】ハーフアップでイメージ分類することができる				
3	イメージ分類 【到達目標】サイドアップでイメージ分類することができる				
4	イメージ分類 【到達目標】タイトロープ編みでイメージ分類することができる				
5	パーツ別イメージ分類 【到達目標】トップのデザインでイメージ分類できることを理解する				
6	パーツ別イメージ分類 【到達目標】サイドのデザインでイメージ分類できることを理解する				
7	パーツ別イメージ分類 【到達目標】おくれ毛のデザインでイメージ分類できることを理解す				
8	パーツ別イメージ分類 【到達目標】質感のデザインでイメージ分類できることを理解する				
9	パーツ別イメージ分類 【到達目標】前髪のデザインでイメージ分類できることを理解する				
10	オーダー別スタイル作成 【到達目標】スウィートタイプのデートヘアを作ることができる				
11	オーダー別スタイル作成 【到達目標】キュートタイプの成人式ヘアを作ることができる				
12	オーダー別スタイル作成 【到達目標】ガーリータイプのパーティヘアを作ることができる				
13	オーダー別スタイル作成 【到達目標】フェミニンタイプのウェディングヘアを作ることができ				
14	オーダー別スタイル作成 【到達目標】シックタイプの和装ヘアを作ることができる				
15	オーダー別スタイル作成 【到達目標】シックタイプの洋装ヘアを作ることができる				
16	技術試験 【到達目標】図一データー沿ったヘアスタイルを作成することができる				
到達目標	4大女性像があることを理解し、お客様の希望に沿ったヘアスタイルを作成出来るようになる				
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受 験することができない				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力 となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	齊藤、星野		
科目名	美容実習（セット）	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間（単位）	60
教育目標・ねらい	ヘアセットを学びながら、ヘアメイクアップアーティストに必要な心構えや技術習得を目指す				
授業回	学習内容				備 考
1	コピートレーニング面構成アップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる				
2	コピートレーニング面構成アップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる				
3	コピートレーニング面構成アップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる				
4	コピートレーニング面構成アップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる				
5	コピートレーニング面構成アップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる				
6	コピートレーニングハーフアップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる				
7	コピートレーニングハーフアップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる				
8	コピートレーニングハーフアップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる				
9	コピートレーニングハーフアップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる				
10	コピートレーニングハーフアップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる				

授業回	学習内容	備 考
11	コピートレーニングカールアップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる	
12	コピートレーニングカールアップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる	
13	コピートレーニングカールアップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる	
14	コピートレーニングカールアップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる	
15	コピートレーニングカールアップスタイル 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる	
16	実技模擬試験 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる	
17	実技模擬試験 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる	
18	実技模擬試験 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる	
19	実技模擬試験 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる	
20	実技試験 【到達目標】見本の作品を見てプロッキング、ボトム、トップ、サイド、フロントのデザイン、質感などを自身で考え再現することができる	
到達目標	見本通りのスタイルが再現できるようになる	
評価方法	期末実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の4/5)を下回る学生は受験することができない	
テキスト	配布資料	
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う	

学科	ビューティーアーティスト科	担当教員	近田		
科目名	美容実習（特殊メイク）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間（単位）	14
教育目標・ねらい	メイクのトレンドや旬なコスメ情報を学び、メイクの引き出しと表現力の幅を広げる。				
授業回	学習内容				備 考
1	メイクトレンド① (サマー)				
2	メイクトレンド② (AW)				
3	メイクトレンド③ (SS)				
到達目標	メイクの流行を理解する事と、トレンドメイクバランスの習得。				
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	配布資料				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	安東				
科目名	美容実習（メイクセラピー）	学 年	2	実施時期	前期		
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	30		
教育目標・ねらい	化粧心理学、メイクセラピー的心理学、カウンセリング概論を理解する 「オーダー」された内容のメイクを施すことができる						
授業回	学習内容			備 考			
1・2	メイクセラピー検定とは？受験の心得、注意点 印象分析（バランス） グループワーク（印象分析）			テキスト＆メイク道具 一式は毎回持参			
3・4	色彩とメイク						
5・6	メイク実習（知的） カウンセリング概論①						
7・8	化粧心理学						
9・10	メイク実習（穏やか）（健康的）						
11・12	メイクセラピー的心理学						
13・14	メイク実習（可愛い）（華やか）						
15・16	印象分析（コミュニケーション） メイク実習（知的）						
17・18	論述問題対策（事例に学ぶ・カウンセリング概論②）						
19・20	メイク実習（オーダー内容の再確認・復習）						
21・22	模擬試験（筆記）						
23・24	模擬試験（実技）1グループ・2グループ						
25・26	筆記及び実技試験の総復習						
27・28	検定筆記（60分）全員			メイクセラピー検定日			
29・30	検定実技（30分）1グループ・2グループ			メイクセラピー検定日			
到達目標	メイクセラピー検定2級合格						
評価方法	期末実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない						
テキスト	メイクセラピー検定 2級テキスト						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は10年以上の美容部員経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う						

学科	ビューティーアーティスト科	担当教員	齊藤、星野				
科目名	美容実習（アニマルメイク）	学 年	2	実施時期	前期・後期		
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	18		
教育目標・ねらい	特殊メイクを学び、技術の幅を広げ、表現力を向上させる						
授業回	学習内容			備 考			
1	企画 【到達目標】モデルの顔に似合う動物を決める						
2	作品制作① 【到達目標】自分で企画した動物メイクを仕上げる						
3	作品制作① 【到達目標】前回の作品をふり返り、前回よりブラッシュアップした動物メイクを仕上げる						
4	作品撮影 【到達目標】フォトコンテストに出展する作品を仕上げる						
5	企画 【到達目標】モデルの顔に似合う動物を決める						
6	作品制作① 【到達目標】自分で企画した動物メイクを仕上げる						
7	作品制作① 【到達目標】前回の作品をふり返り、前回よりブラッシュアップした動物メイクを仕上げる						
8	作品撮影 【到達目標】フォトコンテストに出展する作品を仕上げる						
到達目標	色々なメイクの手法を学び、作品制作に投影させ、フォトコンテストに出展させる						
評価方法	提出課題により評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない						
テキスト	配布資料						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う						

学科	ビューティアーティスト学科	担当教員	境		
科目名	美容実習（ジェルネイル【中級】）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	50
教育目標・ねらい	ジェルネイル応用技術を習得し、ジェルネイル技術に深い関心を持たせる 人に喜んでもらえるようなジェルネイル技術の提供ができるようになる				
授業回	学習内容				備 考
1	試験概要説明、フォーム説明 【到達目標】ジェルネイル検定中級試験概要とフォームについて理解する				
2	ジェルイクステンション(クリアスカルプチュア) 【到達目標】ジェルイクステンションの手法を理解する				
3	ジェルイクステンション(クリアスカルプチュア) 【到達目標】ジェルイクステンションの手法を理解し施術することができる				
4	ジェルイクステンション(クリアスカルプチュア) 【到達目標】ジェルイクステンションの手法を理解し仕上げることができる				
5	ジェルグラデーション 【到達目標】ジェルグラデーションの手法を理解する				
6	ジェルグラデーション 【到達目標】ジェルグラデーションの手法を理解し施術することができる				
7	ジェルグラデーション 【到達目標】ジェルグラデーションの手法を理解し仕上げることができます				
8	ジェルフレンチカラーリング 【到達目標】ジェルフレンチカラーリングの手法を理解する				
9	ジェルフレンチカラーリング 【到達目標】ジェルフレンチカラーリングの手法を理解し、施術することができる				
10	ジェルフレンチカラーリング 【到達目標】ジェルフレンチカラーリングの手法を理解し、仕上げることができます				
11	タイムトライアル 【到達目標】時間を意識し、時間内に仕上げができるようになる				
12	タイムトライアル 【到達目標】時間を意識し、時間内に美しく仕上げができるようになる				
13	実技模擬試験 【到達目標】時間内に技術手順を施すことができる				
14	実技模擬試験 【到達目標】時間内に正確かつ美しく仕上げることができます				
15	実技試験				
16	ネイル技能検定対策 【到達目標】ジェルネイル検定中級受験の準備と心構えができる				
到達目標	ジェルイクステンションという応用技術ができるようになる グラデーションやフレンチカラーができるようになる ジェルネイル検定試験中級合格				
評価方法	期末実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	JNAテクニカルベーシック				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	齊藤		
科目名	美容実習（着付）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	54
教育目標・ねらい	①着物を通して、日本文化に触れるとともに、立居振る舞いを学ぶ ②着付け必要な道具の名称、着物の名称、準備の仕方を習得する ③着付の基礎知識及び基礎技術を学ぶ				
授業回	学習内容				備 考
1	<b>基礎知識</b> ・着付を行うにあたって、・小物の名称、・着物の各部の名称				
2	・紐の準備の仕方、・着物（浴衣）のたたみ方、・準備の仕方				
3・4	<b>浴衣</b> ・補整の仕方、・浴衣の着付け方				
5	・帯結び（基本形）				
6	・帯結び（基本形/アレンジ）				
7	・帯結び（アレンジ）				
8・9	・総復習、・技術チェック、・撮影				
10	<b>街着</b> ・小物の名称・着物の各部の名称(復習)、・準備の仕方・着物のたたみ方(復習)、・長襦袢のたたみ方、・補整の仕方				
11・12	・長襦袢のたたみ方、・補整の仕方、・長襦袢の着付				
13～16	・補整～長襦袢の着付、・着物の着付（裾あわせ）				
17～20	着物の着付（襟合わせ）				
21・22	・補整～長襦袢～着物復習、・帯巻き				
23～26	・二重太鼓、・帯揚げ、・帯締め				
27	<b>総復習</b>				
到達目標	①小物の名称、着物・帯の各部の名称が理解できる ②長じゅばん、着物が正しくたためる ③浴衣、街着が指導のもと、人に着せることができる				
評価方法	各期筆記試験（小物の名称、着物・帯の各部の名称、着物・長じゅばんのたたみ方等）及び実技試験（浴衣、街着、振袖）それぞれ100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	配布資料				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	齋藤				
科目名	美容実習（まつ毛エクステンション）	学 年	2	実施時期	前期・後期		
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	56		
教育目標・ねらい	まつ毛エクステンションの技術に触れ、アイリストとしての将来像も視野に入れ、将来の可能性を伸ばす						
授業回	学習内容			備 考			
1	まつ毛エクステンション概論、道具について 【到達目標】道具の使い方、セッティングを理解する						
2	グルー 【到達目標】グルーを安全に使用するための知識と装着方法を学び、実際に装着してみる						
3	装着① 【到達目標】まつ毛に人工毛をつけることができる						
4	装着② 【到達目標】まつ毛に人工毛をつけることができる						
5	装着③ 【到達目標】まつ毛に人工毛をつけることができる						
6	テーピング 【到達目標】安全にテーピング技術をするための知識を学び、実際にテーピングを施す						
7	テーピング 【到達目標】目に入らないようにテーピングすることができるようになる						
8	リムーピング 【到達目標】安全にリムーピングをするための知識を学び、実際にリムーピングを施す						
9	試験課題① 【到達目標】リムーピングから装着まで一連の流れを理解する						
10	試験課題② 【到達目標】時間を意識してリムーピングから装着まで一連の流れを施術することができる						
11	試験課題③ 【到達目標】時間内に試験課題を終わらすことができる						
12	試験課題④ 【到達目標】時間内に試験課題を終わらし、合格レベルに仕上げることができる						
13	試験課題⑤ 【到達目標】時間内に試験課題を終わらし、合格レベルに仕上げることができる						
授業回	学習内容			備 考			
14	試験課題⑥ 【到達目標】時間内に試験課題を終わらし、合格レベルに仕上げることができる						
15	実技試験 【到達目標】道具を安全に使用し、まつ毛1本に人工毛を正しい向きに装着することができる						
到達目標	道具を安全に使用し、まつ毛1本に人工毛を正しい向きに装着することができる						
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない						
テキスト	まつ毛エクステンション						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う						

学科	ビューティアーティスト学科	担当教員	境		
科目名	美容実習（選択ジェルネイル上級）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修選択	授業時間(単位)	30
教育目標・ねらい	卒業後ネイリストとして活躍できるような上級技術を習得する				
授業回	学習内容				備 考
1	試験概要説明、アート説明 【到達目標】ジェル検定上級試験概要とジェルアートを理解する				
2	ジェルチップオーバーレイ 【到達目標】ジェルチップオーバーレイの手法を理解し仕上げができる				
3	ジェルチップオーバーレイ+デザイン 【到達目標】ジェルチップオーバーレイ+デザインの手法を理解し仕上げができる				
4	ジェルチップオーバーレイ+フレンチルック 【到達目標】ジェルチップオーバーレイ+フレンチルックの手法を理解し仕上げができる				
5	ジェルクリアスカルプチュア 【到達目標】ジェルクリアスカルプチュアの手法を理解し仕上げができる				
6	ピンチング、ファイリング 【到達目標】ピンチング、ファイリングの手法を理解し仕上げができる				
7	タイムトライアル 【到達目標】時間を意識し、時間内に仕上げができるようになる				
8	検定模擬試験 【到達目標】時間内に正確かつ美しく仕上げができる				
9	検定模擬試験 【到達目標】時間内に正確かつ美しく仕上げができる				
10	ネイル技能検定対策 【到達目標】ジェルネイル検定中級受験の準備と心構えができる				
到達目標	ジェルチップオーバーレイやジェルスカルプチュアなどの上級技術ができる ネイルカット「スクエアオフ」がつくれるようになる ジェルネイル技能検定上級試験合格				
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	JNAテクニカルベーシック				

学科	ビューティアーティスト学科	担当教員	境		
科目名	美容実習（選択ネイル1級）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修選択	授業時間(単位)	30
教育目標・ねらい	卒業後ネイリストとして活躍できるような上級技術を習得する				
授業回	学習内容				備 考
1	1級概要説明、筆下ろし、アクリル説明、ミックスメディアアート 【到達目標】ネイル技能検定1級試験内容を理解する				
2	チップ&オーバーレイ 【到達目標】チップ&オーバーレイの手法を理解する				
3	チップ&オーバーレイ 【到達目標】チップ&オーバーレイの手法を理解し、仕上げることができるようになる				
4	アクリルスカルプチュア 【到達目標】アクリルスカルプチュアの手法を理解する				
5	アクリルスカルプチュア 【到達目標】アクリルスカルプチュアの手法を理解し、仕上げができるようになる				
6	アプリケーション、ピンチング、オフ 【到達目標】アプリケーション、ピンチング、オフの手法を理解し、仕上げができるようになる				
7	ファイリング、ハイシャイン 【到達目標】ファイリング、ハイシャインの手法を理解し、仕上げができるようになる				
8	タイムトライアル 【到達目標】時間を意識し、時間内に仕上げができるようになる				
9	検定模擬試験 【到達目標】時間内に正確かつ美しく仕上げができる				
10	ネイル技能検定対策 【到達目標】ネイル技能検定1級受験の準備と心構えができる				
到達目標	ミックスメディアアートなどの上級技術ができるようになる ネイルカット「スクエアオフ」がつくれるようになる ネイリスト技能検定試験1級合格				
評価方法	各期実技試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は受験することができない				
テキスト	JNAテクニカルベーシック				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	齊藤		
科目名	美容実習（来客実習）	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	60
教育目標・ねらい	実際にお客様を担当することで、憧れだった職業を現実的に体感し、接客や技術力向上を目指す				
授業回	学習内容				備 考
1	カウンセリング 【到達目標】お客様の要望を引き出すことができるようになる				
2	来客実習模擬 【到達目標】お出迎えからお見送りまで来客実習の一連の流れを理解する				
3	来客実習 【到達目標】お客様の要望を引き出し、それに応える技術提供ができる				
4	来客実習 【到達目標】お客様の要望を引き出し、それに応える技術提供ができる				
5	来客実習 【到達目標】お客様の要望を引き出し、それに応える技術提供ができる				
6	来客実習 【到達目標】お客様の要望を引き出し、それに応える技術提供ができる				
7	来客実習 【到達目標】お客様の要望を引き出し、それに応える技術提供ができる				
8	来客実習 【到達目標】お客様の要望を引き出し、それに応える技術提供ができる				
9	来客実習 【到達目標】お客様の要望を引き出し、それに応える技術提供ができる				
10	来客実習 【到達目標】お客様の要望を引き出し、それに応える技術提供ができる				
到達目標	お客様の要望を引き出し、それに応えられる技術提供ができる				
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の4/5）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	齊藤、星野				
科目名	美容実習（コンテスト見学）	学 年	2	実施時期	前期・後期		
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	18		
教育目標・ねらい	コンテストを見学し、外部からの刺激を受け学習意欲の向上を目指す						
授業回	学習内容			備 考			
1	Beauty World Japan見学 最新の情報集と共に業界理解を深めるためのイベント見学			4/19～4/21の いずれか 東京ビッグサイト			
2	コンテスト見学 業界理解と学習意欲向上のためのコンテスト見学			6月下旬 大田区総合体育館			
3	ファッションショー見学 他校のファッションショーを見学することで、刺激を受け美翔祭や今後の授業に役立てることができる			文化服装学院 11月上旬			
到達目標	コンテスト見学で吸収したものを自身の作品制作に投影させることができるようになる						
評価方法	各単元のレポート・課題提出により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない						
テキスト	プリント						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるマイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う						

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	齊藤、星野		
科目名	高度実習	学 年	2	実施時期	前期
授業形態	実習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	15
教育目標・ ねらい	実践を通して、応用力を身につける コンテスト出品を目指し、創作意欲を向上させる				
授業回					備 考
1	コンテスト作品のテーマ、コンセプトを決める 【到達目標】作品のテーマ、テーマの背景を決定する				
2	技術トレーニング 【到達目標】作品の大枠を作り終える				
3	技術トレーニング 【到達目標】作品の細かいディテールを作る				
4	技術トレーニング 【到達目標】作品を1体完成させる				
5	技術トレーニング 【到達目標】コンテスト本番と同様のタイム時間を意識して仕上げる				
6	技術トレーニング 【到達目標】コンテスト本番と同様のタイム時間内で仕上げる				
7	技術トレーニング 【到達目標】コンテスト本番と同様のタイム時間内で仕上げる				
到達目標	イメージをカタチにできる技術力、表現力を身に付ける				
評価方法	出席状況、授業態度、授業内チェック、コンテスト結果				
テキスト	プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	齊藤、星野		
科目名	高度実習	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	15
教育目標・ねらい	実践を通して、応用力を身につける コンテスト出品を目指し、創作意欲を向上させる				
授業回					
1	コンテスト作品のテーマ、コンセプトを決める 【到達目標】作品のテーマ、テーマの背景を決定する				
2	技術トレーニング 【到達目標】作品の大枠を作り終える				
3	技術トレーニング 【到達目標】作品の細かいディテールを作る				
4	技術トレーニング 【到達目標】作品を1体完成させる				
5	技術トレーニング 【到達目標】コンテスト本番と同様のタイム時間を意識して仕上げる				
6	技術トレーニング 【到達目標】コンテスト本番と同様のタイム時間内で仕上げる				
7	技術トレーニング 【到達目標】コンテスト本番と同様のタイム時間内で仕上げる				
到達目標	イメージをカタチにできる技術力、表現力を身に付ける				
評価方法	出席状況、授業態度、授業内チェック、コンテスト結果				
テキスト	プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	原田				
科目名	国家試験必須科目（関係法規・制度）	学 年	2	実施時期	前期・後期		
授業形態	講義	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	10		
教育目標・ねらい	(1) コミュニティ(組織・地域・国家)の維持に必要な法の作用を理解し、法の意義を知る (2) 美容業に関する法を学び、個々の法が構成する法体系が何を意図して構成されているのかを理解する						
授業回	学習内容			備 考			
1	(1) 社会生活における法の役割を知る (2) 美容師法の目的と用語を憶える (3) 美容師の義務について知る			小テスト5問			
2	(1) 前回の振り返り (2) 美容師免許制度について知る (3) 衛生行政の種類と行政機関について知る			小テスト5問			
3	(1) 前回の振り返り (2) 美容所の開設、美容所開設者の衛生措置について知る (3) 管理美容師について知る (4) 美容所以外での業務について知る			小テスト5問			
4	(1) 前回の振り返り (2) 美容所への立ち入り検査について知る (3) 違反者に対する行政処分・罰則について知る (4) 美容師法以外の関連法規について知る			小テスト5問			
5	(1) 今まで学んだことのまとめ (2) 確認テスト						
到達目標	(1) 美容師に必要な法を理解し、具体的な法の執行作用(行政処分等)について理解している (2) 正しい理解に基づく遵法意識を持つ						
評価方法	確認テスト60点・各小テスト合計40点の合計100点満点で評価する。 なお、所定時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない。						
テキスト	関係法規・制度(日本理容美容教育センター) 美容師法関係法令集						

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	藤野				
科目名	国家試験必須科目(運営管理)	学 年	2	実施時期	後期		
授業形態	講義	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	10		
教育目標・ねらい	経営者、従業員それぞれの立場からの視点を学び、視野を広げ将来の働き方のヒントにする						
授業回	学習内容			備 考			
1	接客、経営戦略 【到達目標】経営者の視点を持つことができるようになる						
2	人という資源、給与、福利厚生 【到達目標】従業員としての視点を理解する						
3	顧客 【到達目標】顧客が求める価値観やサービスにおける人の役割を理解する						
4	総復習 【到達目標】これまでのまとめ						
5	確認テスト						
到達目標	経営者の視点に立ち仕事を担う責任を理解する 国家試験合格						
評価方法	出席状況、小テスト 60 点以上で合格						
テキスト	運営管理(日本理容美容教育センター)						

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	星野		
科目名	国家試験必須科目(文化論)	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	10
教育目標・ ねらい	人の歴史の最古から美容がどう関わってきたのかを学び、今を知り美容への関心を深める				
授業回	学習内容				備 考
1	ファッション文化史 日本編 【到達目標】日本の歴史の中で美容がどの様に関わってきたのかを理解する				
2	ファッション文化史 西洋編 【到達目標】日本の歴史の中で美容がどの様に関わってきたのかを理解する				
3	礼装について 【到達目標】礼装の種類を理解する				
4	総復習 【到達目標】これまでのまとめ				
5	確認テスト				
到達目標	歴史の中で美容がどう関わってきたのかを学び、今を知り美容への関心を深める 国家試験合格				
評価方法	各期筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数(全体の2/3)を下回る学生は受験することができない				
テキスト	文化論(日本理容美容教育センター)				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	岩崎				
科目名	国家試験必須科目（衛生管理）	学 年	2	実施時期	前期・後期		
授業形態	講義	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	30		
教育目標・ねらい	消毒法の長所・短所を覚える						
授業回	学習内容			備 考			
1	消毒法総論、汚染・感染・発病の意義、施行規則の詳細						
2	消毒法の分類、消毒（殺菌）に必要な条件						
3	病原微生物の抵抗力、理学的消毒法各論						
4	化学的消毒法各論（アルコール）、小テスト予定						
5	化学的消毒法各論（アルコール以外）						
6	優れた消毒法の条件、消毒法実習（濃度計算を含む）						
7	各消毒薬の外観等、消毒の際の注意点						
8	国試の過去問を使って総まとめ						
9	感染症発見の歴史、感染症と法律・分類						
10	病原体の身体への侵入・媒介経路による分類、微生物の構造など						
11	微生物の増殖と環境の影響、病原性と人体に感受性						
12	免疫と予防接種、感染症発生の要因、小テスト予定						
13	感染症予防の3原則						
14	感染症各論、空気・飛沫を介して感染する感染症						
15	飲食物を介して感染する感染症、血液等を介して感染する感染症他						
到達目標	適切な消毒法の選択ができる						
評価方法	各期筆記試験(100点満点)で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は受験することができない						
テキスト	衛生管理1・2(日本理容美容教育センター)、「JNAネイルテキスト」						

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	木村				
科目名	国家試験必須科目(保健)	学 年	2	実施時期	前期・後期		
授業形態	講義	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	15		
教育目標・ ねらい	皮膚について学習し、メイク技術向上につなげるとともに、メイクアップアーティストとして必要な知識を習得する						
授業回	学習内容			備 考			
1	表皮の構造について						
2	真皮の構造について						
3	皮下組織について						
4	皮膚付属機関について						
5	免疫機能について						
6	皮膚と皮膚付属機関の疾患						
7・8	国家試験対策						
到達目標	皮膚の構造、皮下組織、免疫機能を理解する 国家試験合格						
評価方法	各単元毎で確認テストを実施し、総合結果を100点満点で評価する。なお、所定授業時数 (全体の2/3) を下回る学生は評価対象としない						
テキスト	保健(日本理容美容教育センター)						

学科	ビューティアーティスト学科	担当教員	齊藤、星野		
科目名	ビジネスマインド	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	講義/演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	45(3)
教育目標・ ねらい	どのような心構えで社会に出発すればよいのかを考え、社会に出る準備をする				
授業回	学習内容			備 考	
1	就職活動について、働く心構え、キャリアビジョンシート作成				
2	履歴書の書き方、求人票の見方、電話のかけ方				
3	Beauty World Japan見学 最新の情報集と共に業界理解を深めるためのイベント見学				
4	面接の基本、面接の注意事項、面接の実践				
5	コンテスト見学 業界理解と学習意欲向上のためのコンテスト見学				
6	芸術鑑賞（劇団四季） 舞台鑑賞を通し、舞台メイクのテクニックや舞台構成を学び、豊かな感性を養う				
7	大掃除 長期休暇前は使用した場所を綺麗にし、新たな気持ちで新学期を迎える環境を自分たちでつくることができる				
8	前期終業式 年間の節目に合わせ新たに心構えをし、TPOをわきまえた服装で出席する				
9	後期始業式 年間の節目に合わせ新たに心構えをし、TPOをわきまえた服装で出席する				
10	防災館見学 災害時における避難体験や防災体験をし、災害時の判断力を養う				
11	防災訓練 防災、災害に対する意識を高め、災害時に安心・安全に移動することができるようになる				
12	スポーツ大会 スポーツを通し心身を豊かにすると共に、団結力と協調性を身に付け				
13	ファッショショーンショー見学 他校のファッショショーンショーを見学することで、刺激を受け美翔祭や今後の授業に役立てることができる				

授業回	学習内容	備 考
14	大掃除 長期休暇前は使用した場所を綺麗にし、新たな気持ちで新学期を迎える環境を自分たちでつくることができる	
15	働くということ、社会保障と税金、給与明細の見方	
到達目標	将来について考え、5年後のキャリアビジョンを作成し、面接で説明することができる	
評価方法	出席状況、授業態度	
テキスト	プリント ビジネス能力検定テキスト	

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	石井				
科目名	ファッション学(ファッション)	学 年	2	実施時期	前期		
授業形態	講義/演習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	20		
教育目標・ねらい	ヘアやメイクの技術実習を通し、ヘアメイクを職業として捉え、自身の進む方向を考えることができるようになる						
授業回	学習内容			備 考			
1・2	キュートやクール等、テーマに合わせたヘアメイク実習						
3	雑誌の女性像を再現						
4	作品制作～撮影						
到達目標	自分たちのイメージをカタチにする表現技術を習得する						
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない						
テキスト	プリント						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：担当教員は20年以上のヘアメイクアーティストとしての経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う						

学科	ビューティアーティスト学科	担当教員	齊藤、星野		
科目名	ファンクション学(歌舞伎・芸術鑑賞)	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	講義/演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	4
教育目標・ ねらい	芸術鑑賞を通し、美容技術の表現技法を学び、豊かな感性を養う				
授業回	学習内容			備 考	
1	芸術鑑賞（劇団四季） 舞台鑑賞を通し、舞台メイクのテクニックや舞台構成を学び、豊かな感性を養う 芸術鑑賞の際のマナーを習得する				
到達目標	芸術鑑賞を通し感性を養い、自身の作品制作での表現のバリエーションを増やすことができるようになる				
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。				
テキスト	プリント				

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	宮原				
科目名	ファッショント学 (フォト)	学 年	2	実施時期	前期・後期		
授業形態	講義/演習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	20		
教育目標・ねらい	コンテスト作品を創り上げる工程の中で、感性を高め、企画力、表現力の向上を目指す						
授業回	学習内容			備 考			
1	作品制作 (ヘアメイク総選挙)						
2	撮影						
3	作品制作 (アニマルフォトコンテスト)						
4	撮影						
5	作品制作						
6	撮影						
7	作品制作						
8	撮影						
到達目標	自身で企画から制作までやり遂げ、イメージ通りの作品表現ができるようになる						
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない						
テキスト	プリント						

学科	ビューティアーティスト科	担当教員	古莊、宮原		
科目名	ファッショニ学 (撮影技法)	学 年	2	実施時期	前期・後期
授業形態	講義/演習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	16
教育目標・ねらい	撮影時、構図や色合いなどイメージをカメラマンに説明し、イメージ通りにカタチにことができる				
授業回	学習内容			備 考	
1・2	人物撮影 バストショット				
3・4	人物撮影 フルショット				
到達目標	一眼レフカメラを操り、ヘアデザイン、メイク、ネイル、物撮り、人物撮影など撮影の基本技術を習得する				
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	プリント				

学科	ビューティアーティスト学科	担当教員	齊藤、星野		
科目名	ファッショントレーニング（舞台演出）	学 年	2	実施時期	後期
授業形態	実習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	60
教育目標・ねらい	テーマに合わせた色や形、質感など細部にこだわった表現技法を学び、ヘアショーで表現する				
授業回	学習内容				備 考
1.2	テーマ決定 ・テーマ背景をクラス全員で理解する ・テーマに対し、全員が同じ解釈であること ・世界観を固める				
3.4	モデル選出 ・モデルはウォーキング練習開始 ステージ構成決定（モデルウォーキング台本、音楽、照明）				
5.6	ヘア・メイク・ネイル・衣装デザイン画作成～提出				
7～10	ヘア・メイク・ネイル・衣装作成開始				
10～12	美翔祭リハーサル①				
13～15	美翔祭リハーサル②				
16～18	美翔祭リハーサル③				
19～21	美翔祭リハーサル④				
22～24	モデルスチール撮影				
25～27	美翔祭ゲネプロ（本番と同様、照明付き）				
28～30	美翔祭本番				
到達目標	ヘアショーを通し、魅せる技術の習得及び、テーマに合わせた色や形、質感など細部にこだわった表現技法を習得する				
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない				
テキスト	プリント				
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う				

学科	ビューティアーティスト学科	担当教員	齊藤、星野				
科目名	ホームルーム	学 年	2	実施時期	前期・後期		
授業形態	講義/演習	必修・選択 の別	必修	授業時間 (単位)	30		
教育目標・ ねらい	学校生活における学習イメージをつけ、有意義な学校生活を送ることができるようになる						
授業回	学習内容			備 考			
1	2年次年間スケジュールの確認						
2	4月クラス・個人目標設定						
3	5月クラス・個人目標設定						
4	6月クラス・個人目標設定						
5	7月クラス・個人目標設定						
6	LHR 夏休み前長期休暇の過ごし方						
7	LHR 長期休暇明け学校の過ごし方意識付け						
8	7月クラス・個人目標設定						
9	8月クラス・個人目標設定						
10	9月クラス・個人目標設定						
11	10月クラス・個人目標設定						
12	11月クラス・個人目標設定						
13	12月クラス・個人目標設定						
14	LHR 冬休み前長期休暇の過ごし方						
14	LHR 長期休暇明け学校の過ごし方意識付け						
16	1月クラス・個人目標設定						
17	2月クラス・個人目標設定						
18	3月クラス・個人目標設定						
到達目標	自身で立てた目標に対し、計画性を持って実行できるようになる						
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない						
テキスト	プリント						

学科	ビューティアーティスト学科	担当教員	齊藤、星野				
科目名	学内コンテスト（美翔祭・匠すと）	学 年	2	実施時期	前期・後期		
授業形態	演習	必修・選択の別	必修	授業時間(単位)	15		
教育目標・ねらい	観客の視点に立ち、お客様が感動する技術披露ができるようになる						
授業回	学習内容			備 考			
1~4	美翔祭 ①ショー準備、仕込み 客席からの見え方を意識したヘアメイク・ファッショントを完成する ②リハーサル モデルウォーキング練習・ヘアメイク最終確認 ③本番 自分たちの表現したいものを披露する <b>【到達目標】</b> お客様に感動を与えられるようなショーを披露する						
5~8	匠すと ①作品企画 テーマの背景を読み取り、その表現方法を考える ②準備・仕込み 作品制作に必要な道具、小物を準備する ③技術トレーニング タイムトライアルを反復し、時間内の作品完成を練習する ③作品制作 テーマをに合わせた作品を創り上げる <b>【到達目標】</b> 学んだ技術を駆使し、自身の表現したいものが創れるようになる						
到達目標	お客様に喜んでいただける技術提供ができるようになる 自身の表現したいことが創れるようになる						
評価方法	提出課題により100点満点で評価する。なお、所定授業時数（全体の2/3）を下回る学生は評価対象としない						
テキスト	配布資料						
特記事項	実務経験者による実践的教育科目：各教員は最低4年以上の美容サロン勤務の経験を踏まえ、即戦力となるメイクアップアーティスト養成の観点から授業を行う						